



巻頭言／自分の園・施設はどういう人たちのために 頑張っているかを周知し、誇りと喜びを感じる指導体制を	2
ベトナム人留学生5名を新規採用 令和4年度内定式(高齢者部門)	3
園舎増築の上棟式 4月から園児受け入れ くるみ愛育園	3
敷地内移動に環境に優しい電動カート導入 サポートハウスいわと	3
「離乳食講座」開き子育て支援 認定こども園一津屋愛育園	4
大阪府立阿武野高校で“出前講座” 高槻けやきの郷	5
先輩からのメッセージ	4~5
千里丘愛育園 分園ひよこ園・児玉楓香さん、岩戸ホーム・畑 日和さん	
七五三詣り・迎春準備など多彩な保育活動	6
「ふれあい給食」で地産地消メニューの弁当作り サンヒルズ紫豊館	7
創立13年、由良川に感謝の打ち上げ花火 ライフ・ステージ 舞夢	7
ココリスのアクセサリ・ブランド「ParaCoco」地域向け展示販売会も	7
トピックス	8



## 楽しみながら社会の仕組み学ぶ“仕事体験遠足”

東生野愛育園と認定こども園一津屋愛育園の5歳児はそれぞれキッザニア甲子園(西宮市)へ“仕事体験遠足”。さまざまな仕事にチャレンジし楽しみながら社会のしくみを学ぶ職業・社会体験施設です。

### 消防士の消火活動にヤル気!

東生野愛育園(11月1日)の子どもたちは6グループに分かれ、それぞれの職業の制服に着替えると“やる気スイッチ”が入ったようす。調理体験や花屋のブーケ作り、消防車の消火活動(写真)、警察官の巡回パトロールなど充実した体験内容でした。



### 優しく赤ちゃんあやす助産師さん

認定こども園一津屋愛育園の5歳児もグループに分かれ仕事体験(11月30日)。パイロットなどのほか、病院の助産師さん(写真)の仕事では、新生児室で沐浴やベビーマッサージなど3キログムの赤ちゃん(人形)をお世話。赤ちゃんを抱き上げ優しく接する姿が印象的。仕事を終えお給料(キッソ=施設内専用通貨)をもらい大事に握りしめていました。



### 手づくり神輿もようやく出番 「出張屋台祭り」

吹田電ヶ池ホームは昨秋いったん中止した要望の多い秋祭りを、緊急事態宣言解除(10月1日)を受け、特養・短期・通所合同で復活(10月20日、27日)。みなさんにお祭りに来てもらうのではなく、お祭りの方からご入居者やご利用者のもとに向かい、いわば“出張屋台祭り”です。



スタッフの威勢のよい掛け声とともに鎮座したままの“手づくり神輿”もようやく出番。神輿の後にはキャリーカートに装飾した屋台も登場、ゲームや駄菓子を楽しまれ大盛況でした。

### 「いつもの野菜料理より美味しい!」 自分たちが育てた野菜メニューで収穫祭

ココリス(障がい福祉サービス)は敷地内の畑で獲れた野菜(さつまいも、大根、かぶ)を使った食事(さつまいもご飯、豚汁、大根と人参のなますなど)を12名のご利用者に提供し収穫祭を行いました(11月5日)。

収穫はご利用者7名と行い(11月3日)立派に育った野菜に大きな歓声が上がりました。自分たちが育てた野菜がメニューになり、「いつもより美味しい!」という声も。野菜をあまり好まないご利用者も食欲が進んだようです。収穫した野菜はご利用者の自宅に持ち帰られ、「その野菜を使った料理で食卓を囲み、家族の会話も弾みました」という声も寄せられました。



#### 【法人理念】

1. 個人の尊厳を旨として、その人にふさわしい最善のサービスの提供に努める。
2. 地域に開かれ、愛され、地域福祉の拠点となる施設経営を目指す。
3. 専門的知識、技術の研鑽に努め、誇れる施設を目指す。

#### 【サービス目標】

1. オンリーワンとナンバーワンを目指す。
2. オンリーワンとはその施設にしかない特色の創造であり、ナンバーワンとはご利用者の処遇の満足度を高めるため、常時積極的な取り組みをすることである。

#### 【愛育園経営方針】

1. 新しい時代に生きる力の基礎を培う。
2. 女性の社会参加の支援に貢献する。
3. 地域子育て支援を積極的に行い、子どもの成長を喜ぶ社会の実現に寄与する。

#### 【高齢者施設経営方針】

1. 安らぎのある生活と環境を提供し、生きる喜びを創造する。
2. 介護機能の多様化を図り、ご利用者に対し、総合的なサービスの提供をする。
3. 地域の一員として、地域福祉の活性化に貢献し、超高齢社会のセーフティーネットの機能を発揮する。

#### 【障がい施設経営方針】

1. その人らしく健やかにともに暮らし、希望をもって社会参加できる環境を提供する。
2. 地域の中で個々のニーズに合った専門性の高い総合的なサービスを提供する。
3. 地域にあって良かったと誰もが笑顔で過ごせる、信頼される施設運営を目指す。

【発行日】2022年1月

【発行】社会福祉法人 成光苑 (理事長 高岡 國士)  
〒566-0001 大阪府摂津市千里丘3丁目16-7  
TEL.06-6330-3776 FAX.06-6388-9551  
URL. <https://swc-seikouen.or.jp/>

#### ★「ききょう」の由来

創業者が愛した京都府福知山市は、冷泉を利用して地元に開放するお風呂を作り、当法人として老人施設を初めて開設した地。その福知山市の花である「桔梗」から名づけられました。「ききょう」の花言葉は「変わらぬ愛」「誠実」「感謝」「気品」。

QRコードで簡単アクセス!



巻頭言



### 自分の園・施設はどういう人たちのために 頑張っているかを周知し、誇りと喜びを感じる指導体制を

理事長 高岡 國士

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えること存じます。日ごろから社会福祉法人成光苑の事業推進に多大のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

#### 寅年に期す充実した事業の展開

本年は寅年です。昨年は応援している阪神タイガースがあと二歩のところまで優勝を逃しましたが、今シーズンは是非でも捲土重来を期してほしいと願っているところです。

中国伝来の十二支は、もともと植物が循環する様子を表しており、その年の特徴につながるといわれています。寅は十二支の三番目で、子年に新しい命が種の中で芽生えはじめ、丑年には種の中で育つがまだ伸びることができない。寅年は春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態だとされています。当法人もかくありたいと願いながら精進してまいりましたが、本年も充実した社会福祉事業が展開できるように努めてまいりたいと考えています。

#### 保育、高齢者両部門で施設整備進む

さて、本年も昨年に引き続き、施設整備など積極的に推し進めており、当法人保育部門では、くるみ愛育園増築工事により定員を増加させ、本年4月から幼児の受け入れを開始いたし

ます。さらに4月からは、第二愛育園ときりん夜間愛育園を合併し、「幼保連携型認定こども園ときりん愛育園」として新たにスタートさせます。

また、高齢者部門では、本年1月末に、ベトナム人技能実習生用岩戸ホーム職員寮を改修整備するとともに、障がい部門の位置づけで、舞鶴市内に、介護保険と障がい福祉の複合施設として子どもから高齢者までの全世代をサービス対象とする「地域共生型総合福祉施設「ライフステージ 夢咲」」を本年5月の開所に向けて着々と工事を進めているところであります。

#### 人材確保・定着難対応の 環境整備は細心の舵取りが必要

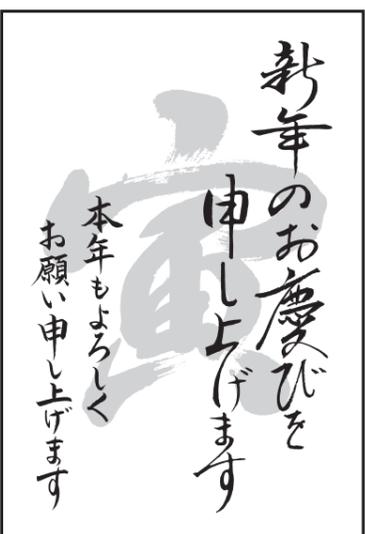
岸田内閣が掲げる「新しい資本主義」などの分配戦略の目玉として、介護・保育・障がい福祉などの職員を対象とした賃上げを含む公的価格の見直しに先立ち、令和3年度補正予算案が決定され、令和4年2月から9月までの間、介護職などの収入を3%程度引き上げる暫定措置が講じられました。

この引き上げ効果を恒常的なものとするため、政府の「公的価格評価検討委員会」で、本年10月以降の給与改善に係る公的価格のあり方が議論され、本年中に中間整理される見通しとなっています。

福祉・医療分野における人材確保・定着難に対する打開策としての環境整備が図られていることは喜ばしい出来事でありますが、法人経営を鑑みると将来の舵取りに細心の注意が必要であるとも言えます。

人材確保・定着の局面で、私の信念の一つでもある女性の両立支援(育児と仕事)を例として、自分の園・施設は、どういう人たちのために頑張っているかを、新規採用内定者やその業務に携わる関係スタッフに丁寧に周知することで、誇りと喜びを感じる指導をお願いしたいと思っております。

当法人は、地域福祉の拠点として、10年後も地域の住民から一番頼りにされる社会資源になるために、地域に信頼され、愛される園施設の運営に努めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。



## 地産地消メニュー

サンヒルズ紫豊館



### 自治会主催の「ふれあい給食」で弁当作り

サンヒルズ紫豊館(福知山市)では地元の上豊自治会長運営協議会主催の「ふれあい給食(人暮らしや寝たきりの高齢者に食事を届ける)」で弁当作りをし、できあがった弁当(73食分)は地域の方が1軒ずつ手渡しされました(12月4日)。

同施設では例年、地域の方と協働で弁当作りからお届けまで行っていました。コロナ禍に伴い、施設スタッフのみでの弁当作りとなりました。メニューは炊き込みご飯、お造り、鶏肉のもろみ焼き、炊き合わせ、和え物、甘酢漬、焼き菓子など旬や地元産の食材をふんだんに使用する地産地消、彩りもよく盛り合わせました。地域との交流やつながりを大切にする地域貢献の一環です。

### ご入居者の無償送迎サービス再開

### ワゴン車で近郊スーパーや最寄り駅 高槻けやきの郷サービス付き高齢者向け住宅

高槻けやきの郷サービス付き高齢者向け住宅では、コロナ禍のため一時休止していたワゴン車によるご入居者の無償送迎サービスを再開しました。緊急事態宣言解除(昨年10月1日)に伴い、10月から近郊スーパー、12月から阪急高槻市駅まで日常生活の優先順に段階的に再開、現在の平均利用は1回5人程度、介助が必要な方にはヘルパーが同行します。外部との接触など行動範囲が狭められていたご入居者は「駅に行ける!」「買い物行ける!」とたいへん喜ばれています。

無料送迎サービス(月水金、1日1回)はこれまでご利用者の利便のため、近郊のスーパー、阪急高槻市駅、JR高槻駅間で行っていました。



### ブランドは「ParaCoco」



ココリス(障がい福祉サービス:生活介護)のご利用者(12名)によるパラシュートコードを使ったアクセサリ作りは「ききょう」2021秋号で紹介しましたが、8月からオリジナルブランド名「ParaCoco」と名付け成光苑の高齢者施設や保育施設(愛育園)事務所内でスタッフ向け販売を開始、12月からは月2回、ココリス駐車場で地域の方への展示販売会を開催しています。

評判もよく、「こんな色も作って」とオーダーも。今後ネーム入りキーホルダーも仲間入りする予定です。ご利用者は製品作りに「お仕事、頑張ります!」と意気込んでおられ、売り上げは工賃としてご利用者に還元されます。

■お問い合わせ  
(☎06-4862-5922 重村、大町)

### 高齢者の居場所「つどい場桜」巡り せつつ桜苑で「ボランティア会議」

どを行い高齢者の居場所づくりの役割を果たしています。

せつつ桜苑が摂津市から委託されている高齢者の「つどい場桜」(「ききょう」2017夏号掲載)の今後の運営などを話し合うボランティア会議が同施設会議室で行われ、21名のボランティアはじめ摂津市担当者、同施設スタッフらが出席、「つどい場桜」の継続やボランティア確保について意見を交換しました(11月30日)。「つどい場桜」では筋力維持体操や笑ヨガな

会議では「5年も続くとは、よく続いた」との声がある一方、「新規ボランティアが集まりにくい。継続するためには対策が必要」といった声も聞かれ、ボランティアを通じて「ここに集うことが楽しみ。継続してほしい」などご利用者からの要望が寄せられました。課題もありませんが、同施設では今後もボランティアと協力しながら地域を支えたいと考えています。

### 由良川を彩った 打ち上げ花火



ライフ・ステージ 舞夢は創立13年を迎えた昨年11月1日、施設目前の由良川河川敷から花火を打ち上げ、施設壁面にイルミネーション点灯を行いました。静まり返った夜景に大きな花火が打ちあがると、ご入居者から「お〜!」と歓声が上がりました。近隣からも拍手が起こり、後日、住民のみさんから「凄かったなあ」と喜んでくださる声も聞かれました。

コロナ禍が続き、ご家族や地域の方を施設に招いてのイベントは難しいため、地域を明るく彩る打ち上げ花火とイルミネーションで「これまでの感謝の気持ち」を伝えたものです。

### 「一緒に行こう」異年齢児が手を繋ぎ

認定こども園一津屋愛育園では子どもたちの健やかな成長と幸せを願い、近隣の味生神社へ2歳児クラス(25名)と4歳児クラス(26名)の七五三詣りに出かけました(11月15日)。



神社まで「一緒に行こう」と4歳児が声をかけ、異年齢児で手を繋ぐ光景も見られました。ご祈祷中は子どもたちの顔付きも神妙、保育スタッフの作法をしっかり見てお参りできました。

### 迎春準備

### 稲藁を踏んだり捻じってしめ縄作り

千里丘愛育園の5歳児クラスは中坊拓也氏(財団法人子ども農業サポート)の指導で、しめ縄作りを体験しました(12月14日)。しめ縄の意味について「不浄のものや悪霊は入れない、歳神様を迎える家を表す」と教わったあと、作業は手足を使い稲藁を踏んだり捻じったり。形が整うと「真っ直ぐ立った! (直線状の縄)」麻紐で丸い形に整えてもらい完成。「悪いものが来ないように玄関ドアに飾りたい」と子どもたちは満足そうでした。



### 七五三詣り

### 「早くお出かけできますように」絵馬に託して

千里丘愛育園の5歳児クラスが近郊の須佐之男命神社に七五三詣り(11月8日)。厳かな雰囲気の中で健やかな成長を願い、0歳児から4歳児までの絵馬を預かった2歳児クラスが代表で奉納しました。コロナの影響から「みんなでお出かけしたい」と絵馬に託して一。



### 初めて握った杵でおもちつき

認定こども園正雀愛育園は3~5歳児クラスを対象におもちつき会を行いました(12月1日)。地域の2つの老人会から会長さんに代表して参加してもらいました。ほとんどの園児は臼や杵を使ったもちつきを見たことがなく、会長さんの実演に「よいしょよいしょ!」の大合唱。5歳児が初めて実物の杵を握り「おもちできた!」と大興奮でした。



### みそ・おにぎり・ジャム作り

### 待ち遠しいな! 卒園前の“みそ汁パーティー”

第二愛育園の5歳児クラスが業者の指導でみそ作りを体験しました(11月24日)。タイで米麴をほぐし、ビニール袋に炊いた大豆を入れて塩を加え、手の平で押しつぶして混ぜ合わせ。しっかりこねボール状にして樽に入れ出来上がりは3ヶ月後。卒園前には漬け込み中の梅干しと一緒に“おにぎり・味噌汁パーティー”を計画、子どもたちはその日を心待ちにしています。



### 小さな手でにぎって頬張って

千里丘愛育園の幼児クラス(3~5歳児)はコロナの影響でできないクッキングに代わりおにぎり作りに挑戦しました(11月18日)。園児たちには写真を見せながら、お米のでき方(成長)を説明後、針崎真紀栄養士がおにぎりの作り方を実践指導。園児たちはそれを見ながら、小さな手で思い思いの形のおにぎりが完成しました。自分で作ったおにぎりを頬張る顔は、満足感に溢れました。



### 園庭で収穫の姫リンゴのジャムを手づくり



きりん夜間愛育園では園庭で収穫した姫りんごを使いジャムを手作りました(11月2日)。姫りんごを4等分に切ると園児の間から「いい匂い!」の声。たくさんの姫りんごを大鍋でじっくり煮込むと甘く爽やかな香りが漂いました。ジャムが出来上がると、園児たちはクラッカーにトッピングして食べました。甘酸っぱくておいしいジャムは“おかわり”が殺到するほどの大好評でした。

### 芋掘り・焼き芋会

### 軍手をはめて「よいしょ!」



第二愛育園ときりん夜間愛育園の3歳児は茨木市内の民間の農園へさつまいも掘りに出かけました(11月17日)。農園スタッフから芋掘りの手ほどきを受けみんな真剣。初めて軍手(作業用手袋)をはめ芋掘りスタート。土の上から見える芋をほじくり、両手でつかんで引き抜くと「抜けたー」の大歓声、大きな芋が連なり奮闘する場面もありたくさん収穫、園に持ち帰り焼き芋を楽しみました。

### 地域高齢者も参加しホクホク焼き芋会

くるみ小規模保育園では園舎前の“ながぼそ公園(小さな空き地)の畑で、地域の高齢者や子育て支援員も参加されさつまいも掘りを行いました(10月22日)。自治会長から春頃、「一畳くらいなら畑を作ってもいいよ」と提案があり、さつまいも栽培に挑戦、再利用レンガで土を囲み大切に育てました。ツルは元気に伸び小さな畑で大豊作。姉妹園くるみ愛育園での焼き芋会(11月10日)でホクホクの焼き芋をいただきました。



## 新規採用13名、うちベトナム人留学生アルバイト5名 「仕事に誇りを持って成光苑とともに」と高岡理事長

### 令和4年度新規採用者内定式(高齢者部門)

成光苑(高齢者部門)の令和4年度新規採用者(高校生除く)の内定式が愛育会館で行われました(12月18日)。内定者は13名、うち5名は日本人内定者と同内容の採用試験に合格したせつ桜苑と吹田竜ヶ池ホームのアルバイト、ベトナム人留学生(介護福祉士養成校在学中)の1期生・2期生です。内定式では高岡園土理事長が「専門的な知識、技術の研鑽に努め、仕事に誇りを持って成光苑とともに歩んでほしい」と激励。入社1年目の先輩スタッフからは「和顔愛語(優しい笑顔・思いやりの言葉)の精神で接してくれる職場環境やチャーター制度(専属の教育・指導役の先輩)があり安心して仕事ができる。頑張つて!」とエールが送られました。

成光苑では平成30年2月からベトナム人留学生(1期生)のアルバイト入社を開始以来、逐次「ききょう」誌で紹介していますが、その受け入れ準備として「グローバル人財プロジェクト」を発足させています。



### 特定技能介護スタッフにフリーピン出身の2名入社

ライフステージ 舞夢 ライフステージ 舞夢では特定技能・介護(II在留資格)スタッフとして、昨年11月にシンギット・ロレタリン・ピライさん(同)、12月にはスカヤン・ロウエナ・ウパスさん(同)が相次いで入社されました。すでに昨年9月にパノヨ・ロセル・バグティラさん(同、「ききょう」2021秋号掲載)が入社されており、お二人とも同じスタッフ寮で生活、通勤され、パノヨさんからはアドバイスを受け生活リズムも安定してきています。



「ぜひベトナム料理を食べてください。フォー(麺料理)、生春巻き、ベトナム風お好み焼きがおすすめです」(リンさん)、「介護の仕事は頑張る、5年後にはベトナムでマンション買って家族と一緒に暮らしたい」(ゲンさん)など日本語でアピールされました。

現行法では最長5年間(在留資格)の活動就業です。介護技術を習得し地域福祉向上の担い手として活躍してほしいと願っています。

## 園舎増築の上棟式 4月から幼児受け入れ、定員110名に

くるみ愛育園では4月から開始する幼児受け入れに伴う園舎増築(0~5歳児定員110名)の上棟式が行われ、法人本部から高岡園土理事長らが出席されました(11月1日)。園舎増築は、木造2階建て、木のぬくもりと窓を大きく広くとることで採光と開放感を演出しています。高岡理事長は工事の無事完成を祈念され、中島みさを園長も「子どもたちの個性を生かし、のびのびと成長する楽しい場所に」とあいさつされました。



## 敷地内移動に環境に優しい電動カート導入



電動カートの導入によって転倒リスクの軽減や排気ガス削減にもつながり、SDGs(持続可能な開発目標)の実現にもつながります。ご入居者からは好評で、今後は特養ご入居者の施設内散策や在宅サービスご利用者の喫茶ひだまり(地域交流スペース)への移動にも活用できればと考えます。



東生野愛育園は令和3年度大阪府保健衛生関係功労者・優良施設知事表彰(食品衛生関係優良施設)を初受賞しました。大阪市の担当職員が来園され賞状を受け取りました(12月1日)。大阪市保健所員による現地確認のうえ、集団給食に係る栄養・調理・環境衛生などの保健衛生向上に尽力、その功績が認められたものです。調理スタッフにとっては今後の業務の大きな励みとなります。

## 保健衛生功労者・優良施設知事表彰 調理スタッフの大きな励みに

# 「離乳食講座」開き子育て支援

認定こども園 一津屋愛育園

認定こども園一津屋愛育園では子育て支援室で離乳食講座を行い、父母と生後4ヶ月の女兒の親子1組が参加、同園の栄養士、子育て支援担当保育教諭各2名が担当しました(11月5日)。



離乳食では、実際に食材ニンジンの柔らかさを指先の感覚で確認、試食体験も行いました。

栄養士から、離乳食の摂取は成長過程における乳児期の舌や口の動きに影響することを説明、ご夫婦は「ぜひ実践したい」と熱心にメモを取られていました。

今回は一組でしたが、多くの方に興味を持って参加していただけるよう講座内容を充実させ、相談しやすい園として様々なニーズに応えていきたいと考えます。

認定こども園 正雀愛育園

認定こども園正雀愛育園の子育て支援室では、摂津消防署員3名を招いて、救命講習会を行いました(12月13日)。

当日は地域の親子3組が参加、胸骨圧迫と人工呼吸からなる心肺蘇生法(BLS)やAED(自動体外式除細動器)を使って体験しました。日常生活で起こり得る誤飲、火傷、怪我の処置や救急車が到着するまでの対応方法も説明がありました。参加者から「子どもと一緒に来ましたが、しっかり学べてよかった」と喜ばれていました。



## AEDの使い方など学ぶ 親子3組参加し救命講習会

第二愛育園ときりん夜間愛育園では、絵本作家の谷口智則さん、キーボード奏者のカッパさんを招き、セッションによるライブペインティングを実施しました(11月5日)。

「考える力」や「感じ方」の形成を育む情操教育の一環。感受性が豊かな子どものうちに行うことが大切とされています。

谷口さんは、子どもたちがリクエストした動物を即興で描かれ、色を塗っている間にカッパさんがキーボードを弾きながら絵本(「100人のサンタクロース」「カメレオンのかき氷屋」など)を読んだり、歌をうたってくれました。園児たちは絵本の世界に入り込み、出来上がっていく絵に大喜び。完成したカラフルな絵は玄関に飾っています。

児玉 楓香  
千里丘愛育園  
分園ひよこ園  
2021年度入社



世話好きが「子どもとしっかり関わる」「こころに繋がっています」「こころなでできるかな…」と頑張れる場所を見つけれ、よかったです

—自分のどんな所が

今の仕事に生かされていると感じますか?

私は姉が多い環境で育ったことから、小さい頃から世話をすることが好きでした。それが今、保育という仕事を通じて「子ども一人ひとりにしっかりと関わる」「こころに繋がっている」と感じます。保育士として未熟ですが、日々成長する子どもたちのために頑張ろうと思っています。

—学生のみなさんにメッセージを

私は「人の役に立ちたい」という気持ちから保育の仕事

—自分のどんな所が

今も初めはそうでした。実際は、介護の右も左も分からない私を、先輩スタッフや育成制度にも連動して支えられ、スタッフ間や利用者との関係構築にも理解が深まり、より介護の仕事の楽しさを知ることができるようになりました。学生のみなさんにも先入観に囚われず、興味を持ったこと、やってみなさんにも積極的にチャレンジしてほしいです。そこから夢や目標が拓けるきっかけに繋がると思っています。私も一緒に福祉の輪を広げて行きますよ。

千里丘愛育園(前配属先)の見学を経て「こころなでできるかな…」という気持ちでアルバイト(Wワーク)入社しました。働き始める前、自分なりに頑張れる場所(必要とされていることや仕事のやりがい)があり、分らないことは教えてもらえる先輩がいるので「良かった」と実感しています。就活では悩みや不安もあると思いますが、いろいろな園を見学してほしいです。素敵な保育士さんになれるよう応援しています。

## 先輩からのメッセージ

畑 日和  
岩戸ホーム  
2021年度入社



周りから面倒見がよいと…これ長所かな  
積極的にチャレンジし、そこから夢や目標が拓けます

—自分のどんな所が

今の仕事に生かされていると感じますか?

周りからは面倒見がよいと言われます。経験の浅い(高卒入社1年目)私ですが、介護の仕事を続けていく中で、最も活かせる長所だと思います。介護に関する専門性はもちろん、福祉に携わる人間として、大きく成長できていると思っています。

—学生のみなさんにメッセージを

「介護の仕事はキツイ」というイメージがある方は多

—自分のどんな所が

右も左も分からない私を、先輩スタッフや育成制度にも連動して支えられ、スタッフ間や利用者との関係構築にも理解が深まり、より介護の仕事の楽しさを知ることができるようになりました。学生のみなさんにも先入観に囚われず、興味を持ったこと、やってみなさんにも積極的にチャレンジしてほしいです。そこから夢や目標が拓けるきっかけに繋がると思っています。私も一緒に福祉の輪を広げて行きますよ。

大阪人間科学大で講義  
せつつ桜苑

## 大阪人間科学大で講義

せつつ桜苑

せつつ桜苑の介護スタッフは大阪人間科学大学社会福祉学部で講義を行っています。次世代介護人材育成の観点や地域貢献としても力を入れているものです。

## 府立阿武野高校で“出前講座”

福祉や着脱介護など

高槻けやきの郷

高槻けやきの郷のスタッフが大阪福祉人材センター(大阪府社会福祉協議会)からの依頼で、大阪府立阿武野高等学校の福祉系学生18名を対象に“出前講座”を行いました(12月1日)。

講師は中島康博施設長はじめ本村知麻介護主任、松村幸子介護スタッフ。中島施設長は特養の役割について、高齢者が住んでいる場所というだけでなく地域住民との交流や子ども食堂など「地域福祉の拠点となるべく取り組んでいる」ことなどを解説。介護現場で働く本村・松永両スタッフはパジャマ着脱介助などの体験講義を行い、着替え技術のほか、着替えの必要性や言葉のかけ方なども実践しながら説明しました。学生さんたちも真剣で、次世代介護人材の志をひしひと感じることができました。



## 「ライフステージ 夢咲」開設に先立ち

障がい福祉に定評の「クムレ」訪問し情報交換

ライフステージ 舞夢のスタッフら

「ライフステージ 夢咲」開設に向けて準備を進めているライフステージ 舞夢(舞鶴市)の上野由香子施設長らスタッフは、社会福祉法人成光苑と交流が盛んな同法人クムレ(倉敷市)の財前民男理事長を訪ね、情報交換会を行いました(11月8日)。

クムレは4月に「多機能型重度グループホーム おうちだ」を開設されますが、成光苑の「地域共生型総合福祉施設 ライフステージ 夢咲」(5月開設予定)の提供サービス形態(日中

完成予想図(パース)



ライフステージ 夢咲(舞鶴市)はすでに建物全体の鉄骨が立ち上がり外壁やガラスサッシの取り付けが終了、現在は外壁色や内装の選定など順調な進捗状況です。降雪の影響が予想される土地柄ですが、大雪だけは避けてほしいというのが関係者の願いです。

## スウェーデンの福祉事情探る オンライン研修に参加

岩戸ホーム

岩戸ホームの大石康裕課長兼居宅介護支援事業所管理者が「2021年度民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修」(公益財団法人社会福祉振興・試験センター主催)に参加しました(12月8日、15日)。日本からの受講者は49名。

スウェーデンとのオンライン開催で、初日は税制面や保険制度について、2日目は同国の高齢者施設見学、質疑応答など。大石課長から支援が必要になった時の住まいや保険制度について質問、「スウェーデンには介護保険制度はなく、自治体の専門の判定員が『特別住宅』と呼ばれる高齢者施設への入居などを決める。自治体の税収(財政力)によって受けられる福祉サービスにも差が生じている」ということでした。

